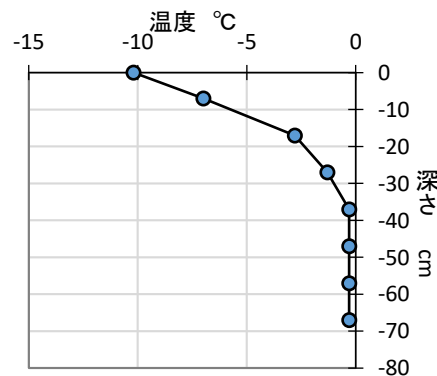
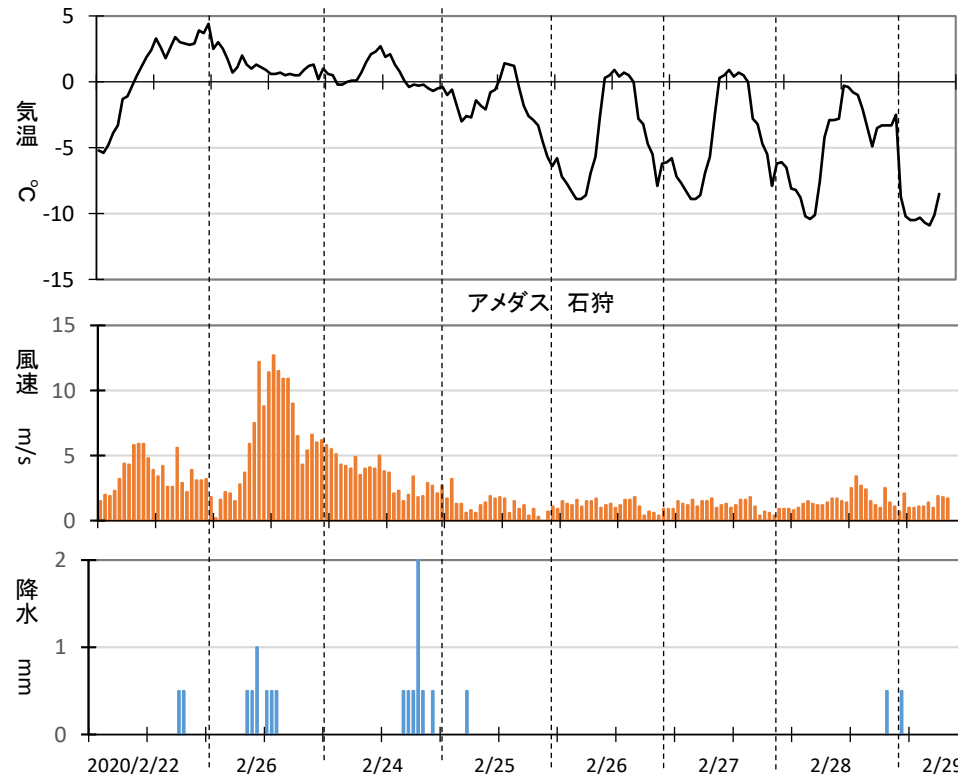


⑤: 雲粒付き新雪が「しまり」に
 ④: 「ざらめ」霜が見える →
 ③: 2/16-17の低気圧前面の降雪(雲粒なし、34号、36号、37号参照)。曲率の大きな結晶(直線的)は長く残る。弱層の寿命に関係あり。
 ②: 「しまり」、右は小あられが変化したもの。
 ①: 「ざらめ」

69	+	+	
64	/	/	⑤:60cm
50	○	○	④:48
38	+	/	③:35
29	●	●	②:23
15	○	○	①:10cm
0			



2月29日 6:45~7:40 晴れ 気温-8.2°C
 積雪深:67cm
 2/25以降晴天、放射冷却で冷えるが、積雪の下半分は0°Cのまま、含水率はほぼ0%。したがって、下層にはまだ「しまり雪」が残っている。さらに③層には雲粒なし降雪層が保存されている。
 粒子撮影には第33号で示した手製のグッズを用いると、撮影用粒子の分散が、簡単に、手早くできる。
 粒子が重ならないように分散させるのに、長年苦労したしたがこれで解決。
 雪の穴掘りから粒子撮影まで1時間弱。粒子は約50枚撮影(400MB)。

雪温分布:
 日中は全層が0°Cに(予想)